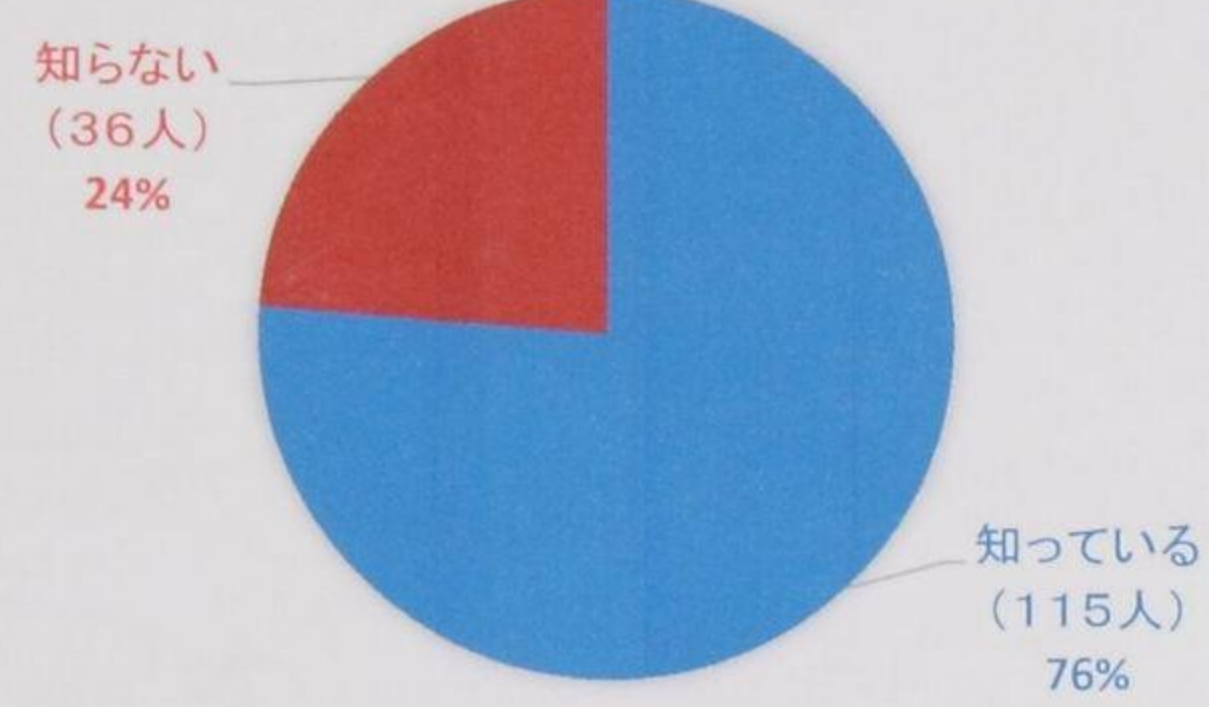


人工知能と人間の未来

平成28年7月 西仙北中学校生徒151名 アンケート調査 生活文化部 統計グラフ2班

ある日、テレビを見ていたら、人工知能と囲碁のプロが対戦して、人工知能が勝利したというニュースが流れていて、とても衝撃を受けました。このニュースをきっかけに、人工知能の印象や、人工知能が急速に発達していることについてどう思っているか全校の皆さんに聞いてみたいと思ったので、アンケート調査を行いました。

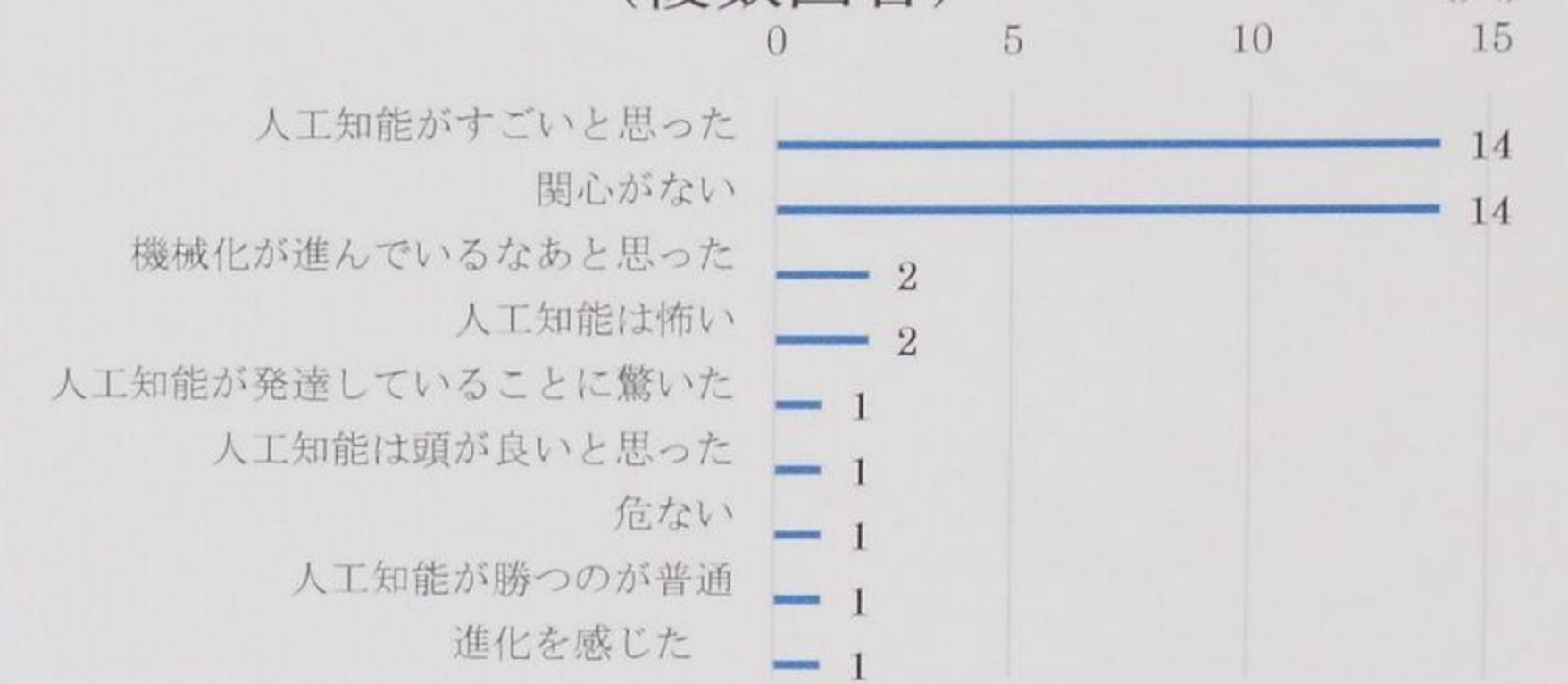
①あなたは人工知能が囲碁の名人に勝ったことを知っていますか？



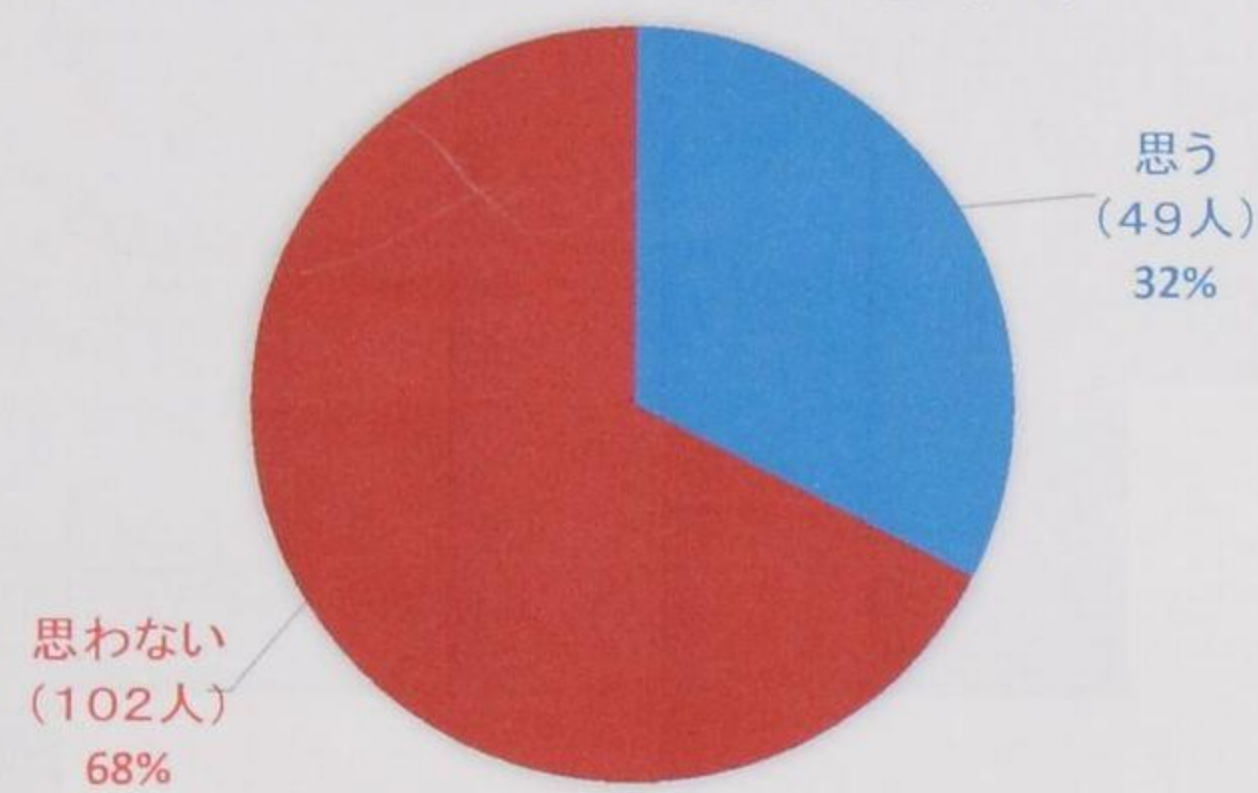
②このニュースを知ってどう思いましたか？
／①で知っている人と答えた人（複数回答）



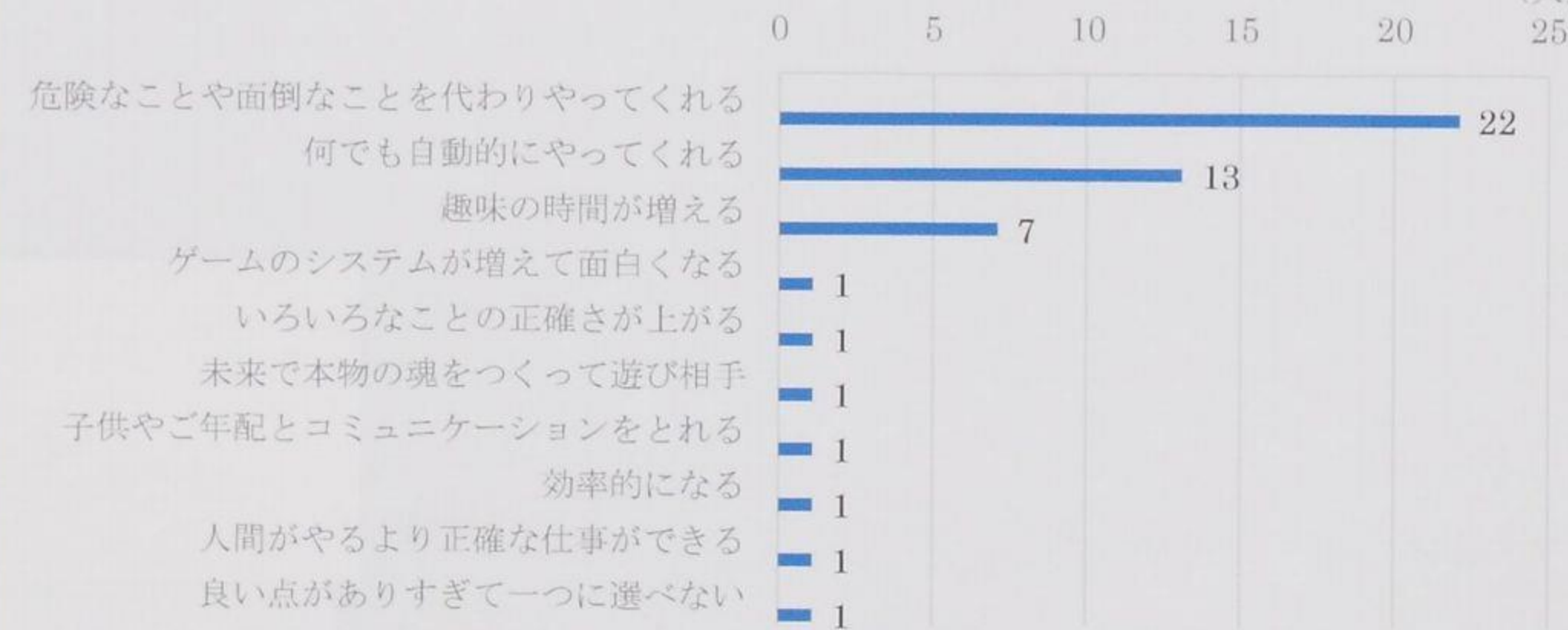
③このニュースを知ってどう思いましたか？
／①で知らない人と答えた人（複数回答）



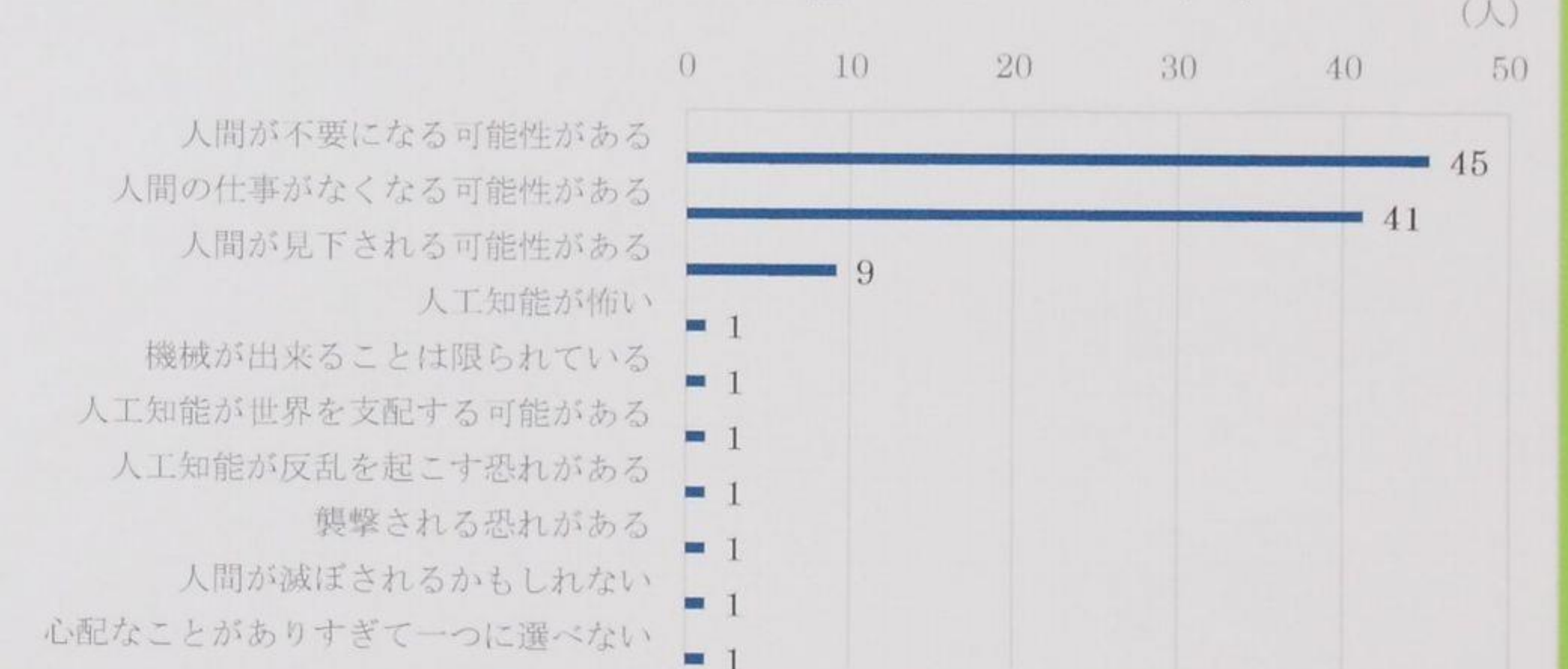
④あなたは人工知能を使うことは良いことだと思いますか？



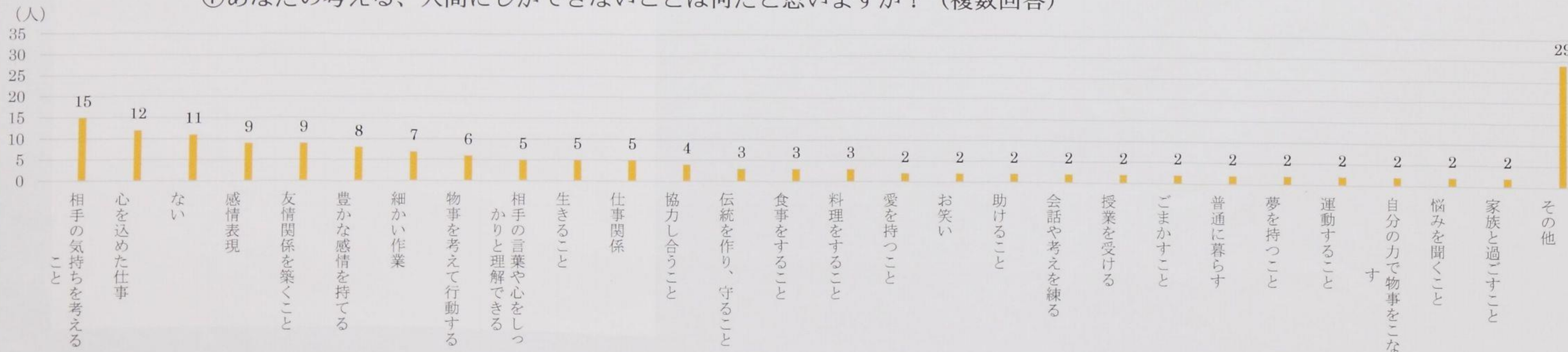
⑤人工知能を使う上で、最も良い点は何だと思いますか？（思うと答えた49人）



⑥人工知能を使う上で、最も心配なことは何ですか？（思わないと答えた102人）



⑦あなたの考える、人間にしかできないことは何だと思いますか？（複数回答）



まとめ

今回の調査から、だいたいの生徒が人工知能に関心をもっていることがわかった。しかしその反面、興味がないという生徒も多く見られた。このような結果から、どんどん人工知能が発達していく社会で私たちが人工知能と共存していくには、まず、私たちと人工知能は関係ないという考え方を改めるべきだと思った。将来を担うのは私たちなのだから、今の現状に目を背けず、真剣に考えていかなければならないと思った。